

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

Data Compendium on Japanese Potteries and Ceramics
with Production Year Book I

Edited by YOSHIOKA Yasunobu, TAKAHASHI Teruhiko and MURAKI Jiro

2001

国産紀年銘土器・陶磁器
データ集成 上巻

吉岡康暢・高橋照彦・村木二郎編



I 国産紀年銘土器・陶磁器データ
(古代, 北海道～和歌山)

国立歴史民俗博物館
研究報告

第89集

平成13年3月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

Data Compendium on Japanese Potteries and
Ceramics with Production Year Book 1

Edited by YOSHIOKA Yasunobu,
TAKAHASHI Teruhiko and MURAKI Jiro

国立歴史民俗博物館
研究報告
第89集

国産紀年銘土器・陶磁器
データ集成 上巻

吉岡康暢・高橋照彦・村木二郎 編

凡 例

- 1 本書は、本館考古研究部の「考古資料の情報集成的研究」の一環として行った「国産紀年銘土器・陶磁器データ集成」（平成5・6年度）事業の第1次成果報告『近世窯業遺跡データ集成』（本館研究報告第73集，平成9年）につづく，第2次成果報告「国産紀年銘土器・陶磁器データ集成」である。
- 2 本事業を進めるにあたっては、植崎彰一氏にご助言をいただき，データ集成作業は各都道府県の研究者が分担して行った。本書は吉岡康暢が企画し，編集は高橋照彦（前考古研究部，現奈良国立博物館）・村木二郎（考古研究部）の協力をえた。また陶磁器の実測・作図，図版編成などの作業は，上記3名と，藤尾純江・秋元智也子のほか，栗木崇・鈴木康友・長谷川恵子・斉藤康子・森本伊知郎・土橋尚起があたった。なお，銘文の判読については，本館歴史研究部教員の協力をえた。
- 3 第I部は，「古代」（編集高橋照彦・図版村木二郎）と「中・近世」に大別し編成した。「古代」は便宜的に1049年までを一括し，「中・近世」は1050～1867年を都道府県別，年代順に配列した。なお，産地未詳のデータは，採録した都道府県に編入した。
- 4 近世考古学の基礎資料としての活用を図る立場から発掘資料を重視し，窯道具・型などの生産用具まで含めたが，①経外容器，②瀬戸・美濃の狛犬，③瓦埴は資料数が多く，①②はすでにデータが集成されているので原則として除外した。
- 5 紀年銘は本体を原則とするが，箱書データの一部を採録した都道府県もある。そのばあい，本体の墨書銘は刻銘に準じ1次資料としたのに対し，箱書の墨書銘は2次（参考）資料として区分した。

以下項目別に記入要項を摘記する。

〔番号〕 都道府県コード番号－都道府県別紀年順番号（「参」は箱書銘など）

〔数量〕 単独資料は点数，組物は1組の数量

〔時期〕 世紀

〔種別〕 ①「土師（質土）器・黒色土器・瓦（質土）器・施釉土器・無釉陶器・施釉陶器・磁器・生産用具・その他」に分類した。②「施釉土器」は低火度釉を施した土器（古代の三彩・緑釉，近世後期のいわゆる（鉛）透明釉土器など），「無釉陶器」は古代～近世の焼締め陶器で，中分類上は古代・中世の「須恵器」を含む。

〔遺物名〕 原則的に「釉種＋文様＋器種・規格」とし，「色絵・三彩・染付・鉄絵・金銀彩，象嵌・摺絵（銅板・型紙）・陽（陰）刻・劃花・印花・櫛描・貼付・搔落し・透彫り・氷裂，輪花・稜花」などの凡称で加飾技法を分別し，「金爛手」，「古九谷様式」などの表記は避けた。

〔釉種〕 ①高火度釉は，「藁灰釉・海鼠釉・御深井釉」と「天目釉・柿釉・鉛釉・錆釉・黒石釉」などの通称を，成分に由来する「灰釉」と「鉄釉」にまとめるように努めたが，成分が不明ないし成分量が時期により変化するばあいも多いので，色調によって「黄釉・褐釉・黒釉・白釉」などの名称を適宜併用した。なお「織部」，「志野」は特定の釉種を包括する陶器様式として凡称されているが，それぞれ「（銅）緑釉」「白釉」として一般化した上で，（ ）に示した。ただ，釉と器質を一体化した「楽」は，「黒楽・赤楽」などの通称に従った。②低火度釉には，「多彩釉・緑釉・透明釉」がある。2種以上の釉種の混用は，「白釉鉄釉流し」，「灰釉鉄釉掛分け」などと表記した。

〔文様〕 的確な慣用語で簡潔に表現し，「○○手」などの雅名は避けるように努めたが，「織部」→「緑釉白釉掛分け鉄絵○○文」，「鎧手」→「灰釉鉄釉流し緋文」などかえって対象が絞りにくくなった物もある。

〔器種〕 ①器種は通例によったが，近世については別表のように名称を分類・整理した。②法量は，碗皿とも口径9 cm 未満を「小」，碗は口径14 cm 以上，皿は口径27 cm 以上を「大」とし，中間の「中」は省略した。

〔産地〕 ①『近世窯業遺跡データ集成』（本館研究報告第73集）に登載した窯跡を包括する中分類を目安として，大規模な特定産地（生産圏）を示す大分類を「系」として入れ，「有田（肥前系）」のように記した。ただ，産地の大分類の定義（指標）については，なお検討の余地を残しており，考古学的あるい

区 分		用途	器 種
食 器	供膳	食膳	碗・皿・鉢・猪口・坏・段重・水注・小壺(瓶)・塩壺・散蓮華・箸置など
	酒茶	飯酒 喫茶	盃・盃洗・銚子・徳利、爛徳利・ちろりなど 天目茶碗・茶入・水指・茶壺・茶釜・風炉、湯呑茶碗・土瓶(急須)、花入など
	厨房	煮炊 調理 貯蔵	鍋・釜・行平・焙烙・焜炉(七厘)など 播鉢・卸し皿など 甕・壺(瓶)など
奢 修 器		喫煙 宗教 暖火 文房 化粧 遊戯 植栽 飼育 瓦埴 その他	火入・灰吹など 花瓶・香炉・仏飯器・線香立、狛犬・御神徳利など 灯明皿・燭台・油壺、瓦燈・火鉢・火入・火消壺・十能など 陶硯・硯屏・筆立・水滴など 紅皿・鬘盤・髪油壺、鉄獎杯・嗽碗・お歯黒壺など 人形・各種ミニチュア・泥面子・基石など 植木鉢など 餌皿など 手洗鉢、浸瓶、蚊遣りなど

近世土器、陶磁器の分類は、それ以外の器質（金属器・漆器など）の生活財とともに生活様式を構成するとの視点から、社会的機能と場によって、食物を貯え、調理し、飯食するための用器と関連用器（「食器」）、それ以外の用途をもつもの（「奢侈器」）に大別し、主要器種を網羅した。（井汲隆夫「江戸遺跡検出のやさしきもの分類」『細工町遺跡』別冊1 新宿区厚生部遺跡調査会 1992、榊淵規彰「近世陶磁器・土器類の分類に関する考察」『研究紀要2 かながわの考古学』神奈川県立埋蔵文化財センター 1997などを参考に作製）

は文献史料によって直接工人を招寄したことが確認できるばあいなどに限り、生産技術「系」として用いたばあいもあり、統一的に処理されていない。②瀬戸焼（愛知県）と美濃焼（岐阜県）は識別できないばあいは、愛知県（瀬戸）に編入した。

〔成形〕「轆轤作り・紐轆轤作り・型作り・轆轤型作り・板作り・手捏ね・その他」に区分した。①「轆轤作り」はいわゆる轆轤水挽き成形、「型作り」は肥前系磁器の「型打」、「糸切り細工」などの単一成形技術、「紐轆轤成形（中・近世の無釉陶器・甕壺類など）・轆轤型作り」は複合成形技術である。②「板作り」はいわゆる「タタラ作り」で、箱物の成形技術である。③「手捏ね」は、普通古代の祭祀土器のような粗製の一過性の土器について使用されるが、ここでは「楽系」など紐作りと連動した轆轤を用いない成形技術を包括した。

〔法量〕①蓋物のみ「総高」と上段の「蓋」に数値を記入した。②平面が方形・長方形などの物は、「総長」に長辺×短辺の数値を記入した。③破損した個体の数値は（ ）に入れ、復原値は「復」を冠した。

〔銘文〕①「種類」は、「本体・共箱」とした。②「部位」は、本体は「鈕・口縁端・頸部・体部・底側・外底・内底・その他」とし、「外底」以外の部位は内面に限り「胴内」などと略記した。③箱銘の「部位」は、「蓋表（裏）・体外・外底・その他」とした。④「手法」は、焼成前の「刻書・刻印・染付・鉄絵・色絵・その他」と、焼成後の「刻書・墨（朱）書」に区分した。⑤「紀年」は、「和暦（西暦）〇月〇日、干支」、年号のみで暦年を欠くばあいは、当該年号の末尾にまとめた。干支のみのばあいは、「〇〇年から〇〇年と推定」とした。⑥「銘文」は、改行を「／」で仕切り、部位を変えて記銘したばあいは原則として改行した。漢字銘は、原書体の保持に努めたが、偽体・異体文字などは常用漢字をあてた。記入者銘などで判読可能な「書銘・印銘」は、「永楽」（花押）、「永楽」（印銘）のように記した。

〔来歴〕「伝世・発掘・採集・その他」に区分した。

〔旧保管者・遺跡〕「伝世」で旧保管者が判明したものは旧保管者またはコレクション名,「発掘・採集」は,遺跡名・調査年次・地点・遺構名・層序および所在地・種類(窯・武家屋敷・町屋・村落・城館・寺院・墳墓・その他)を記入するように努めた。

〔保管〕遺物の保管者名は,原則として公共施設に限って記入し,個人蔵は「個人」とした。

〔文献〕「著者+発行年(西暦)+題目+発行所」の順に記したが、『日本やきもの集成』1～11(平凡社)は頻出するため略記した。

〔備考〕国・県・市指定文化財,紀年銘と製品の考古年代との不一致,紀年が暦文によるなど。

本書第Ⅰ部に収録したデータ・ベースのうち画像情報(写真・実測図)を転載されるばあいは,国立歴史民俗博物館考古研究部へ連絡して下さい。

データ集成調査担当者一覧 (敬称略)

北海道	田原良信	京都府	赤沼多佳
青森県	工藤清泰		堀内明博
岩手県	昆野 靖		大槻 伸
宮城県	藤沼邦彦	大阪府	白神典之
秋田県	小松正夫		松尾信裕
山形県	川崎利夫	兵庫県	山口久喜
	大類 誠		森田 稔
福島県	飯村 均		大槻 伸
茨城県	西尾勝三	奈良県	中村貞史
	荒井 聡	和歌山県	中村貞史
栃木県	鈴木泰浩	鳥取県	三田 巍
群馬県	大西雅広	島根県	熱田貴保
埼玉県	塚田良道	岡山県	目賀道明
東京都	関口廣次		上西節雄
新潟県	石川秀雄		伊藤 晃
富山県	宮田進一	広島県	村上 勇
石川県	平田天秋	山口県	榎本 徹
	藤田邦雄	徳島県	山川浩実
福井県	田中照久	香川県	豊田 基
山梨県	末木 健		渡部明夫
長野県	市川隆之	愛媛県	岡田敏彦
岐阜県	今井静夫	高知県	松田直則
	林 順一	福岡県	副島邦宏
	土山公仁	佐賀県	大橋康二
	井上喜久男		渡辺芳郎
静岡県	足立順司		鈴田由紀夫
愛知県	井上喜久男		村上伸之
	藤澤良祐	長崎県	下川達彌
	野場喜子	熊本県	坂本重義
三重県	谷本鋭次		澤田宗順
	駒田利治	大分県	菊田 徹
滋賀県	松澤 修	宮崎県	近藤 協
	秋田裕毅	鹿児島県	前迫亮一
	稲垣正宏	沖縄県	池田榮史
京都府	鈴木重治		

本書第Ⅰ部のデータ・ベース中に引用したほかに、下記の諸機関・各位より資料の提供などをうけたことを深謝します。

〔宮 城〕 畠山静子
〔埼 玉〕 尾崎泰弘
〔東 京〕 近藤杜（水府明德会彰考館）
〔富 山〕 定塚武敏
〔石 川〕 石川県立歴史博物館
〔岐 阜〕 可児郷土歴史館（可児市教育委員会社会教育課）
〔愛 知〕 小牧市教育委員会文化振興課，江崎武
〔三 重〕 山本雅靖，榎本義譲（朝田寺），朝日町歴史博物館
〔京 都〕 舞鶴市教育委員会社会教育課，京都市埋蔵文化財研究所
〔滋 賀〕 寿福滋
〔大 阪〕 尾崎良史
〔奈 良〕 大和文化財保存会，古瀬堯三
〔和歌山〕 舟木佳代子
〔岡 山〕 大島愿恭（西寺真光院），邨田利夫，葛西美保子，里庄町教育委員会，八尾市歴史民俗資料館
〔島 根〕 田部美術館，津和野町教育委員会
〔福 岡〕 高山慶太郎，須恵町歴史民俗資料館，福岡県立美術館
〔佐 賀〕 志田町歴史民俗資料館，今右衛門古陶磁美術館，小木一良
〔長 崎〕 長崎市立博物館，諫早市教育委員会，野田敏雄
〔熊 本〕 木下洋介
〔鹿児島〕 鹿児島県歴史資料センター黎明館

写真転載文献一覧

「日本やきもの集成」1～12（平凡社） 01-004・-005，20-007・-012・23-053・-191・-215，16-001・-005・-007・-009・-010・17-012・-019・-025・-031・-035・-049・-052，17-005・26-001・-005・-006・-011・-025・-031・-032・-039・-041・-042・-参01・-参04・-参08・-参10，24-002・-003・-005・-022・25-023，27-006・-009・-参02・30-参08・-参09・-参10・-参11・-参12・-参13・-参31・-参38・-参41，28-参04・32-008・-010・-011・-013・-019，28-049・-067・34-001・-002，37-010・-014・-037・38-013・39-参01，41-参08・-参29・-参56・42-参01・-参06，40-001・-009・-011・-015・46-012
「世界陶磁全集」6・9（小学館） 13-004・26-004・-014・-030・-035・-参03・-参05・-参06，17-051・22-003
「伊万里の変遷」（小木一良著，創樹社美術出版） 41-013・-017・-026・-027・-028・-029・-036・-037・-046・-047・-048・-053・-054・-058・-059・-063・-066・-071・-077・-079・-081・-088・-098・-99・-100・-103・-113・-114・-119・-124・-128・-129・-131・-138・-143・-146・-151・-155・-156・-157・-159・-175・-176・-179・-206・-208・-224・-226・-234・-235・-240・-244・-245・-256・-265・-266・-参01・-参02・-参03・-参06・-参09・-参11・-参12・-参16・-参17・-参18・-参19・-参21・-参22・-参23・-参24・-参25・-参26・-参27・-参28・-参30・-参34・-参35・-参38・-参39・-参42・-参45・-参46・-参49・-参52・-参62
「新集成伊万里」（小木一良著，里文出版） 41-023・-055・-086・-105・-136・-参04・-参05・-参13・-参31・-参32・-参33・-参36・-参37・-参44
「越中のやきもの」（定塚武敏著，巧玄出版） 16-002・-003・-004・-006・-008
「肥前平戸焼読本」（野田敏雄著，創樹社美術出版） 42-003・-008・-036・-参02・-参07・-参08
「伊万里」〈日本の美術157〉（矢部良明著，至文社） 41-参07・-参14
「乾山と京のやきもの展」（NHK・NHKプロモーション） 26-007・-010・-034・-040・-参09
「乾山の陶芸」（五島美術館） 13-003・26-008・-009・-012・-013・-015・-016・-017・-018・-020・-022・-023・-参02
「藏品図録・日本陶磁」（出光美術館） 26-019
「所藏品図録」（愛知県陶磁資料館） 30-024・37-参01・23-216・-参06・-参07・-参14・-参16
「萬古焼展」（愛知県陶磁資料館） 24-026
「江戸時代を彩る御庭焼と御用窯の世界」（愛知県陶磁資料館） 23-参13
「瀬戸の染付磁器」（愛知県陶磁資料館） 23-238

「瀬戸本業焼」(愛知県陶磁資料館) 23-参09-参11
「名古屋のやきもの」(愛知県陶磁資料館) 23-054-167-189-参15-参17-参22
「越中のやきもの」(愛知県陶磁資料館) 16-014
「加藤紋右衛門展」(瀬戸市歴史民俗資料館) 23-203
「川本半助展」(瀬戸市歴史民俗資料館) 23-246-参23-参25-参26
「十七世紀に花ひらく御深井釉の陶器」(名古屋市博物館) 21-045-078-095・23-032-042-055
「城下町の文化 名古屋のやきもの」(名古屋市博物館) 23-199-250
「名古屋のやきもの 豊楽焼」(名古屋市博物館) 23-参19
「犬山焼の精華」(犬山市文化史料館) 23-202
「美濃桃山陶の系譜」(土岐市美濃陶磁歴史館) 21-010
「美濃の古陶」(光琳社) 21-107
「紀州陶磁図録」(楽只会) 30-参01-参02-参03-参04-参05-参06-参07-参14-参15-参16-参18-参19-参20-参21-参22-参23-参24-参25-参26-参27-参28-参29-参30-参32-参33-参34-参35-参37-参39-参42-参43-参44-参45-参46-参47-参48
「紀州陶磁聚成」(山元湖舟写真工芸部) 30-参17
「南紀男山焼」(紀州陶磁研究保存会) 30-004-005-006-008-009-016-025-027-029-032-033-034-038-039-040-参36-参40
「大和文化財保存会収蔵品目録—陶磁器編」(大和文化財保存会) 29-001-010
「八尾を掘る」(八尾市立歴史民俗資料館) 33-023
「館蔵茶器名品図録」(田部美術館) 32-007
「備前焼—その流通と時代的特色—」(岡山県立博物館) 33-参01
「時代別古備前名品図録」(桂又三郎著, 光美術工芸) 33-120
「福岡の陶磁器展」(佐賀県立九州陶磁文化館) 40-016-020-参02
「世界のさつま」(黎明館) 46-001-002-009-015-022
「筑前国陶高取焼展」(福岡市美術館) 40-002
「久我コレクション 九州陶磁」1(福岡県立美術館) 40-013
「筑前の磁器 須恵器」(須恵町歴史民俗資料館) 40-004-006-007-010-014-017-018-019-026
「資料図録4 工芸編」2(長崎市立博物館) 42-022-023-024-033-050-参03-参04-参09
「肥前崎陽の古陶磁」(つかさコレクション展示館) 42-015-025-038

目次

刊行にあたって

凡例

I 国産紀年銘土器・陶磁器データ

00 古 代	3	18 福 井	175
01 北海道	23	19 山 梨	195
03 岩 手	29	20 長 野	201
04 宮 城	33	21 岐 阜	215
05 秋 田	55	22 静 岡	329
06 山 形	69	23 愛 知	339
07 福 島	75	24 三 重	533
09 栃 木	91	25 滋 賀	557
11 埼 玉	95	26 京 都	585
13 東 京	99	27 大 阪	623
15 新 潟	111	28 兵 庫	633
16 富 山	115	29 奈 良	697
17 石 川	127	30 和歌山	713

[下巻目次]

I 国産紀年銘土器・陶磁器データ

31 鳥取	37 香川	43 熊本
32 島根	38 愛媛	44 大分
33 岡山	39 高知	46 鹿児島
34 広島	40 福岡	47 沖縄
35 山口	41 佐賀	
36 徳島	42 長崎	

II 国産紀年銘土器・陶磁器研究

中近世瀬戸・美濃窯の紀年銘資料について

[藤澤良祐]

古丹波の紀年銘について [大槻 伸]

中世信楽焼の紀年銘資料について [松澤 修]

備前焼紀年銘資料の諸問題 [上西節雄]

紀州男山陶器場について [中村貞史]

肥前・有田磁器にみる紀年銘について

[大橋康二]

琉球の近世紀年銘陶器資料について

[池田榮史]

東京国立博物館の紀年銘資料から [伊藤嘉章]

III 国立歴史民俗博物館収蔵国産紀年銘土器・陶磁器

1 目録
2 実測図
3 解説 [吉岡康暢]

Bulletin of the National Museum of Japanese History vol. 89-1
Data Compendium on Japanese Potteries and Ceramics with Production Year

Contents :

Preface

Notes and Acknowledgement

[I] Data of Japanese Potteries and Ceramics with Production Year

00 Ancient	3	18 Fukui	175
01 Hokkaido	23	19 Yamanashi	195
03 Iwate	29	20 Nagano	201
04 Miyagi	33	21 Gifu	215
05 Akita	55	22 Shizuoka	329
06 Yamagata	69	23 Aichi	339
07 Fukushima	75	24 Mie	533
09 Tochigi	91	25 Shiga	557
11 Saitama	95	26 Kyoto	585
13 Tokyo	99	27 Osaka	623
15 Niigata	111	28 Hyogo	633
16 Toyama	115	29 Nara	697
17 Ishikawa	127	30 Wakayama	713

[Contents of vol. 89-2]

[I] Data of Japanese Potteries and Ceramics with Production Year

31 Tottori	37 Kagawa	43 Kumamoto
32 Shimane	38 Ehime	44 Oita
33 Okayama	39 Kochi	46 Kagoshima
34 Hiroshima	40 Fukuoka	47 Okinawa
35 Yamaguchi	41 Saga	
36 Tokushima	42 Nagasaki	

[II] Research on Japanese Potteries and Ceramics with Production Year

FUJISAWA Ryosuke	Production Year Data on Medieval Seto and Mino Ceramics
OTSUKI Shin	Production Year on Ko-Tanba Potteries
MATSUZAWA Osamu	Production Year Data on Medieval Shigaraki Ceramics
UENISHI Setsuo	Subjects on the Materials of Bizen Potteries with Production Year
NAKAMURA Sadafumi	On the Sites of Ceramic Production at Otokoyama in Kishu
OHASHI Koji	Production Year on Hizen and Arita Porcelains
IKEDA Eishi	Production Year Data on Ryukyu Ceramics in Recent Centuries
ITO Yoshiaki	Data on Potteries and Ceramics in the Collection of Tokyo National Museum

[III] The Collection of Japanese Potteries and Ceramics with Production Year in the National Museum of Japanese History

1. List of Japanese Potteries and Ceramics with Production Year
2. Drawing of Japanese Potteries and Ceramics with Production Year
3. YOSHIOKA Yasunobu——Explanatory Notes on Japanese Potteries and Ceramics with Production Year

I 国産紀年銘土器・陶磁器データ

[国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会]

館外委員（五十音順）

木村茂光 東京学芸大学教育学部
坂本 満 聖徳大学人文学部
平山和彦 筑波大学歴史・人類学系
廣瀬和雄 奈良女子大学文学部

館内委員

永嶋正春 情報資料研究部
小島道裕 歴史研究部
設楽博己 考古研究部
比嘉政夫 民俗研究部（編集委員長）
篠原 徹 民俗研究部（研究委員長）

国立歴史民俗博物館研究報告 第89集 上巻
吉岡康暢・高橋照彦・村木二郎 編

●
平成13年（2001）3月30日 第1版第1刷発行

（非売品）

発行所

●
国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所

●
凸版印刷株式会社

〒112-8531 東京都文京区水道 1-3-3 ☎03-5840-3111(代)

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Data Compendium on Japanese Potteries and Ceramics
with Production Year Book I

Edited by YOSHIOKA Yasunobu, TAKAHASHI Teruhiko and MURAKI Jiro



[I] Data of Japanese Potteries and Ceramics with Production Year (Ancient, Hokkaido-Wakayama)